

我が国の教育をめぐる現状・課題・展望

【社会の現状や変化】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大
- ・ロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化
- ・VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- ・少子化・人口減少や高齢化
- ・グローバル化・地球規模課題
- ・DXの進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素）
- ・共生社会・社会的包摂
- ・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）
- ・18歳成年・こども基本法 等

第3期計画期間中の成果	第3期計画期間中の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・（初等中等教育）国際的に高い学力水準の維持、GIGAスクール構想、教職員定数改善 ・（高等教育）教学マネジメントや質保証システムの確立、連携・統合のための体制整備 ・（学校段階横断）教育費負担軽減による進学率向上、教育研究環境整備や耐震化 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でのグローバルな交流や体験活動の停滞 ・不登校・いじめ重大事態等の増加 ・学校の長時間勤務や教師不足 ・地域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化 ・高度専門人材の不足や労働生産性の低迷 ・博士課程進学率の低さ 等

次期計画のコンセプト

2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

- ・将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていく
- ・社会課題の解決を、経済成長と結び付けてイノベーションにつなげる取組や、一人一人の生産性向上等による、活力ある社会の実現に向けて「人への投資」が必要
- ・Society5.0で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

今後の教育政策に関する基本的な方針

①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- ・主体的に社会の形成に参画、持続的社会の発展に寄与
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、大学教育の質保証
- ・探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等を推進
- ・グローバル化の中で留学等国際交流や大学等国際化、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進
- ・リカレント教育を通じた高度人材育成

②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

- ・子供が抱える困難が多様化・複雑化する中で、個別最適・協働的学びの一体的充実やインクルーシブ教育システムの推進による多様な教育ニーズへの対応
- ・支援を必要とする子供の長所・強みに着目する視点の重視、地域社会の国際化への対応、多様性、公平・公正、包摂性（DE&I）ある共生社会の実現に向けた教育を推進
- ・ICT等の活用による学び・交流機会、アクセシビリティの向上

人生100年時代に複線化する生涯にわたって学び続ける学習者

③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- ・持続的な地域コミュニティの基盤形成に向けて、公民館等の社会教育施設の機能強化や社会教育人材の養成と活躍機会の拡充
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、家庭教育支援の充実による学校・家庭・地域の連携強化
- ・生涯学習を通じた自己実現、地域や社会への貢献等により、当事者として地域社会の担い手となる

④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

DXに至る3段階（電子化→最適化→新たな価値(DX)）において、第3段階を見据えた、第1段階から第2段階への移行の着実な推進

GIGAスクール構想、情報活用能力の育成、校務DXを通じた働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、DX人材の育成等を推進

教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、教育データの分析・利活用の推進

デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ

⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

学校における働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実の一体的推進、ICT環境の整備、経済状況等によらない学び確保

NPO・企業等多様な担い手との連携・協働、安全・安心で質の高い教育研究環境等の整備、児童生徒等の安全確保

各関係団体・関係者（子供を含む）との対話を通じた計画の策定等



みよし学びの共創プラン

(三次市教育大綱・三次市教育振興基本計画)

計画期間

令和6(2024)年度～令和10(2028)年度

基本理念

高い志をもち 夢や目標に向けて挑戦し 自立を図るとともに 多様な共創により
住み続けたいまち三次を実現する 心豊かで たくましい ひとづくり



基本方針



1 子どもの未来応援

- ・妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援体制の充実
- ・一人ひとりの育ちを大切にする環境づくり
- ・多様な子育て世帯への支援
- ・子どもが高い志をもち、夢や目標に向けて挑戦するために必要な力の育成
- ・多様な人々とつながり、次代を担う自覚が育つ学校づくり
- ・子どもの創造性を育む豊かな学びの環境づくり

2 豊かな心と生きがい

- ・地域文化資源の積極的活用による芸術・文化の振興
- ・歴史・伝統・文化の継承と地域の誇りの醸成
- ・生涯を通じた学びの推進
- ・子どもたちがスポーツや文化活動に親しむ機会の創出
- ・スポーツによる地域活性化の推進



3 多文化・共生

- ・一人ひとりを尊重し合う共生社会の推進
- ・平和の継承と国際交流の推進

スローガン

ゆめびと こうしあん
みよし結芽人～幸輝心～

自分自身が芽のように伸び、夢を達成する存在として、ひと・もの・こととつながり、
三次市の魅力や課題に主体的にかかわっていくひと。
生涯にわたって学びを重ね、好奇心を持ち、幸せに向かって成長し続けるひと。

方向性



(1) 自立

自らの意志を持ち、主体的に考えて行動・挑戦し、必要な助けがあれば、
それを他者から受け取りながら、誰もが自分らしく生きることをめざします。

(2) 共創

正解がわからない中でも、他者と協働し、試行錯誤しながら納得解を見出したり、
新たな価値を創造したりすることをめざします。

(3) well-being (ウェルビーイング)

多様な個が「つながり」を広げながら、幸せや生きがいを感じるとともに、
地域や社会全体が幸せや豊かさを感じられることをめざします。

(4) 情報発信

広くわかりやすい情報発信することで、誰もが必要な情報にアクセスしやすくなることをめざします。
また、情報を活用することで、様々な人とのコミュニケーションの深化にもつなげていきます。

(5) DX (デジタル・トランスフォーメーション)

教育DXとして、学習のあり方や指導方法の改革を進めるとともに、教職員の業務など、学校教育の
あらゆる面において変革をめざします。また、歴史・伝統・文化への活用にもつなげていきます。

本計画の本編は
こちらからご覧に
なれます



教育振興基本計
画(文部科学省)
はこちら



広島県教育に関
する大綱(広島
県)はこちら



みよし学びの共創プラン
策定年月 令和6年3月
発行・編集 三次市、三次市教育委員会
〒728-8501
広島県三次市十日市中二丁目8番1号
TEL 0824-62-6111（代表）
FAX 0824-62-6137（代表）
<https://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/>



【用語解説】
・Well-being (ウェルビーイング) …… 身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
・DX (デジタル・トランスフォーメーション) …… デジタル技術を活用して、社会や暮らしを便利で豊かにする取組のこと。デジタルによる変革などと訳される。

基本施策

(1) 新しい時代に求められる資質・能力や確かな学力の育成



<具体的施策>

- ・チーム学校による児童生徒の学力の向上
- ・読解力、表現力及び発信力の向上
- ・個別最適で協働的な学びの実現
- ・読書活動の充実
- ・情報活用能力の育成
- ・英語教育、国際理解教育の充実
- ・健康増進や体力の育成
- ・教育政策研究チームによる先進的な教育政策の調査研究



<主な指標>

- ・三次市学力到達度検査における全国平均との差
- ・「読んだ本の内容について紹介したり話したりする」児童生徒の割合

(2) 多様な居場所や学びの場の創出



<具体的施策>

- ・特別支援教育の充実
- ・いじめ・不登校等の対策及び生徒指導の充実による安全・安心な居場所と学びの場づくり
- ・予防的支援を含めたセーフティネットの充実
- ・放課後児童クラブなどの子どもの居場所づくりの充実

<主な指標>

- ・児童生徒における「自己肯定感」の割合
- ・家庭以外で誰ともつながっていない児童生徒の数

(3) 学校・家庭・地域等の連携協働



<具体的施策>

- ・小中9年間を貫く三次市独自のコア・カリキュラムの開発
- ・体験活動の充実
- ・防災教育の充実
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的な推進
- ・家庭教育支援の充実
- ・中学校部活動の地域移行の推進
- ・他地域・各種団体との交流など、多様なつながりの場・体験の創造
- ・学校と地域や関係機関等との双方向による情報発信と共有

<主な指標>

- ・学校と地域や保護者の相互理解が深まったと感じる学校の割合
- ・児童生徒における「地域貢献」への肯定的な回答率

【用語解説】・チーム学校 校長の方針の下、多様な人材が能力を発揮して児童生徒に必要な力を確実に身に付けさせる学校。
・コミュニティ・スクール 学校運営協議会を設置した学校。
・コア・カリキュラム 全ての小中学校で共通して実施する教育課程。

(4) 魅力ある教育環境の整備・充実

<具体的施策>

- ・児童生徒一人ひとりに応じた学びを実現する小中学校の適正配置
- ・老朽化に対応とともに、効率的、効果的に、誰にとっても安全で使いやすい学校施設整備
- ・幼保・高校・大学等との連携
- ・子どもと向き合う時間につなぐ教職員の働き方改革の推進
- ・学校給食における地産地消と食育の推進



<主な指標>

- ・「学校の教育環境が充実している」と思う市民の割合
- ・働きがいを感じる教職員の平均値
- ・学校給食における農産物（米・麦・野菜・果物）に三次産を使用する割合（金額ベース）

(5) 心の豊かさを育む文化芸術の振興



<具体的施策>

- ・良質な芸術鑑賞機会の提供
- ・芸術・文化活動の発表の場の提供
- ・体験をえた子ども向け芸術普及活動の推進

<主な指標>

- ・過去1年間に芸術・文化を鑑賞・体験等をした市民の割合
- ・美術館の入館者数

(6) 魅力あふれる歴史・伝統・文化の保存と活用



<具体的施策>

- ・わかりやすい歴史・文化財の情報発信
- ・デジタル技術を活用した文化財の計画的保護と活用
- ・地域の歴史を学ぶ講座等の開催
- ・伝統・文化の継承と新たな価値の創造

<主な指標>

- ・「地域の伝統文化を保存継承している」と思う市民の割合
- ・「昔からあるお祭りなど地域の伝統が大切にされている」と思う中高生の割合

(7) 生涯の学びを支える環境の充実



<具体的施策>

- ・市内外の学びの場の情報集約と発信
- ・市民が集う図書館事業の推進
- ・効率的かつ有効な施設利用の促進
- ・国内外との積極的な連携・交流の促進

<主な指標>

- ・一人あたりの図書貸出冊数
- ・文化に関する出前講座・生涯学習事業等参加者数

■学校の現状

【規模の状況】(令和6年5月1日調査)

<小学校>

学校規模	完全複式校	複式学級を有する学校	クラス替えができない規模	全学年ではクラス替えができない規模	半分以上の学年でクラス替えができる規模	標準規模
学級数 (※特別支援学級を除く)	3	4～5	6	7～8	9～11	12～18
該当校	河内小学校 栗屋小学校 青河小学校 ※小童小学校 君田小学校 作木小学校 ※八幡小学校	田幸小学校 川西小学校 布野小学校	酒河小学校 神杉小学校 和田小学校 川地小学校 甲奴小学校 吉舎小学校 みらさか小学校 三和小学校		三次小学校	十日市小学校 八次小学校
	(7校)	(3校)	(8校)	(1校)	(2校)	

【注】「※」印の学校は、2つの学年で児童数がゼロを示す。

<中学校>

学校規模	複式学級を有する学校	クラス替えができない規模	全学年ではクラス替えができる学年が少ない規模	全学年でクラス替えができる、同学年に複数教員を配置できる規模		標準規模
学級数 ※特別支援学級を除く	1～2	3	4～5	6～8	9～11	12～18
該当校		三次中学校 川地中学校 甲奴中学校 君田中学校 布野中学校 作木中学校 吉舎中学校 三良坂中学校 三和中学校		塩町中学校 八次中学校	十日市中学校	
	(9校)		(2校)	(1校)		

<国が示す学校規模の標準>

学校規模の標準は、国の法令等により、次のとおり規定されています。

		小学校	中学校
学級数 ^{※1}		12学級以上18学級以下を標準とする。 ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りではない。	
通学距離 ^{※2}		おおむね4km	おおむね6km
学級編制 ^{※3}	同学年で編制する学級	35人 ※令和7年度まで段階的に移行	40人
	2つの学年の児童生徒で編制する学級(複式学級)	16人 ※第1学年の児童を含む場合にあっては、8人	8人
	特別支援学級	8人	8人

※1学級数：学校教育法施行規則

※2通学距離：義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

※3学級編制：公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律

【特別支援を要する児童生徒の状況】

		R2	R3	R4	R5	R6
特別支援学級数	小学校	28学級	30学級	30学級	32学級	33学級
	中学校	15学級	16学級	16学級	16学級	20学級
	計	43学級	46学級	46学級	48学級	53学級
特別支援学級在籍	小学校	72人	91人	95人	102人	104人
	中学校	28人	30人	37人	43人	50人
	計	100人	121人	132人	145人	154人
通級による指導	小学校	19人	23人	28人	28人	27人
	中学校	0人	4人	11人	15人	15人
	計	19人	27人	39人	43人	42人

【生徒指導上の課題状況】

(単位:人)

		R2	R3	R4	R5
暴力行為	小学校	22	72	44	50
	中学校	21	39	45	29
	計	43	111	89	79
いじめ	小学校	16	14	30	27
	中学校	12	13	10	16
	計	28	27	40	43
不登校	小学校	22	32	34	33
	中学校	47	67	72	81
	計	69	99	106	114

(様式1号)

令和6年度学校別児童・生徒数等一覧(三次市小学校)

【令和6年5月1日調査】

番号	学校名	児童・生徒数													実学級数										
		通常の学級							特別支援学級						合計	通常の学級							特別支援 学級	合計	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	1年	2年	3年	4年	5年	6年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計			
1	河内小	2	3	3	1	4	3	16	0	0	0	0	0	0	0	16	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	3.0	0	3.0
2	三次小	28	40	39	42	33	44	226	1	0	0	3	1	3	8	234	1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	10.0	2	12.0
3	粟屋小	4	4	1	5	3	5	22	1	0	0	1	1	2	5	27	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	3.0	2	5.0
4	十日市小	85	89	84	101	84	87	530	2	3	1	1	2	5	14	544	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	18.0	3	21.0
5	八次小	86	73	73	75	86	82	475	1	0	4	2	1	4	12	487	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	18.0	2	20.0
6	酒河小	24	35	16	26	33	23	157	0	1	2	4	1	0	8	165	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.0	2	8.0
7	青河小	0	4	3	2	2	3	14	0	0	0	1	0	0	1	15	0.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	3.0	1	4.0
8	神杉小	11	10	19	17	10	15	82	0	2	1	1	0	5	9	91	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.0	2	8.0
9	田幸小	5	6	7	7	5	8	38	0	0	0	0	0	0	0	38	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	4.0	0	4.0
10	和田小	10	12	9	12	15	10	68	1	2	1	0	1	1	6	74	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.0	3	9.0
11	川地小	5	5	12	8	6	17	53	0	1	1	0	2	0	4	57	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.0	1	7.0
12	川西小	6	4	3	5	4	4	26	0	0	0	0	0	0	0	26	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	4.0	0	4.0
13	甲奴小	11	6	15	7	18	10	67	0	0	1	2	0	0	3	70	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.0	2	8.0
14	小童小	0	0	1	1	2	2	6	0	1	0	0	0	1	2	8	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	2.0	2	4.0
15	君田小	6	1	5	3	6	8	29	0	1	1	0	1	2	5	34	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	3.0	2	5.0
16	布野小	5	10	10	10	5	10	50	0	1	0	0	0	2	3	53	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	5.0	2	7.0
17	作木小	2	6	5	4	4	4	25	0	0	1	1	0	0	2	27	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	3.0	2	5.0
18	吉舎小	14	12	12	17	15	15	85	1	0	1	1	5	2	10	95	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.0	2	8.0
19	八幡小	0	0	2	1	5	3	11	0	0	0	0	0	0	0	11	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	2.0	0	2.0
20	みらさか小	23	21	20	31	20	13	128	1	1	2	1	3	3	11	139	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.0	2	8.0
21	三和小	8	12	9	10	11	14	64	0	0	0	0	0	1	1	65	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.0	1	7.0
		335	353	348	385	371	380	2,172	8	13	16	18	18	31	104	2,276	20.0	22.0	21.5	21.5	20.0	21.0	126.0	33	159.0

(様式1号)

令和6年度学校別児童・生徒数等一覧(三次市中学校)

【令和6年5月1日調査】

番号	学校名	児童・生徒数								実学級数						
		通常の学級				特別支援学級				合計	通常の学級				特別支援学級	合計
		1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計		1年	2年	3年	小計		
1	三次中	40	40	31	111	1	2	3	6	117	1.0	1.0	1.0	3.0	2	5
2	十日市中	99	95	83	277	4	4	7	15	292	3.0	3.0	3.0	9.0	3	12
3	塩町中	68	52	59	179	1	1	4	6	185	2.0	2.0	2.0	6.0	2	8
4	川地中	13	1	19	33	2	1	0	3	36	1.0	1.0	1.0	3.0	2	5
5	八次中	62	69	54	185	3	4	3	10	195	2.0	2.0	2.0	6.0	2	8
6	甲奴中	10	8	7	25	1	1	0	2	27	1.0	1.0	1.0	3.0	2	5
7	君田中	6	9	10	25	0	0	0	0	25	1.0	1.0	1.0	3.0	0	3
8	布野中	4	6	5	15	0	2	0	2	17	1.0	1.0	1.0	3.0	2	5
9	作木中	8	13	4	25	0	0	1	1	26	1.0	1.0	1.0	3.0	1	4
10	吉舎中	18	16	16	50	1	1	0	2	52	1.0	1.0	1.0	3.0	1	4
11	三良坂中	12	12	20	44	1	1	0	2	46	1.0	1.0	1.0	3.0	2	5
12	三和中	12	11	10	33	1	0	0	1	34	1.0	1.0	1.0	3.0	1	4
		352	332	318	1,002	15	17	18	50	1,052	16.0	16.0	16.0	48.0	20	68

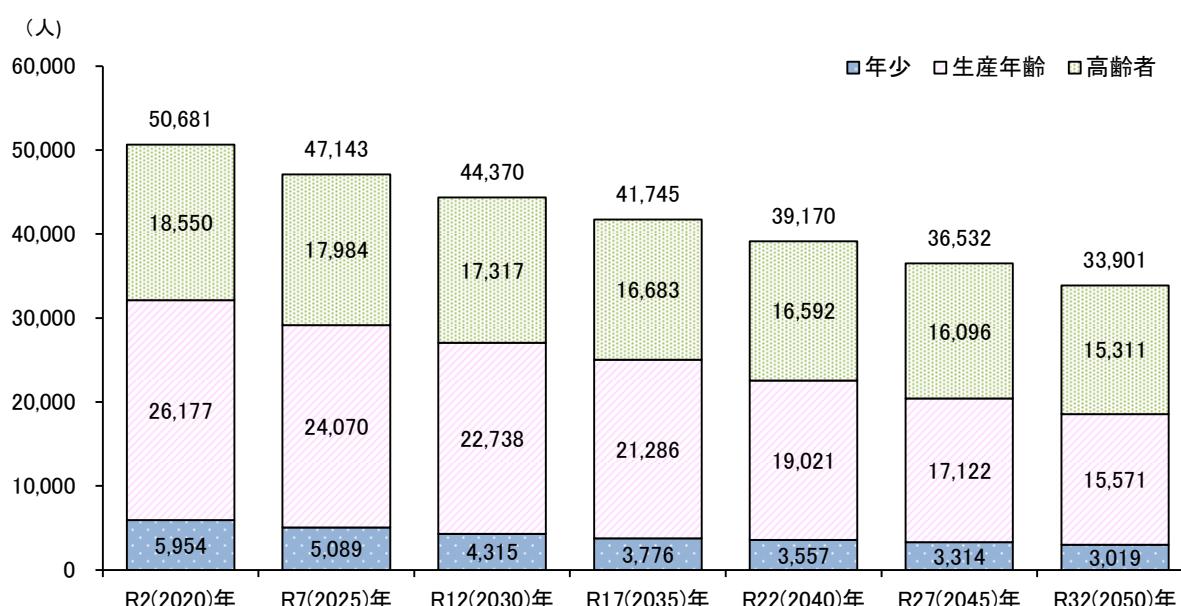
■三次市出生数の推移

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
524	500	516	499	492	483	496	444	459	430
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
392	415	361	364	343	356	307	333	291	284

資料:広島県人口移動統計調査

■国立社会保障・人口問題研究所(社人研)による三次市の将来人口推計

令和2(2020)年の国勢調査に基づき社人研が推計【令和32(2050)年まで】



項目	R2(2020)年	R7(2025)年	R12(2030)年	R17(2035)年	R22(2040)年	R27(2045)年	R32(2050)年
年少	人数(人)	5,954	5,089	4,315	3,776	3,557	3,314
	構成比 (%)	11.7	10.8	9.7	9.0	9.1	8.9
生産年齢	人数(人)	26,177	24,070	22,738	21,286	19,021	17,122
	構成比 (%)	51.7	51.1	51.2	51.0	48.6	46.9
前期高齢者	人数(人)	8,249	7,147	6,119	5,581	6,072	6,201
	構成比 (%)	16.3	15.2	13.8	13.4	15.5	15.9
後期高齢者	人数(人)	10,301	10,837	11,198	11,102	10,520	9,895
	構成比 (%)	20.3	23.0	25.2	26.6	26.9	29.3

※ 年少:0~14 歳, 生産年齢:15~64 歳, 前期高齢者:65~74 歳, 後期高齢者:75 歳~

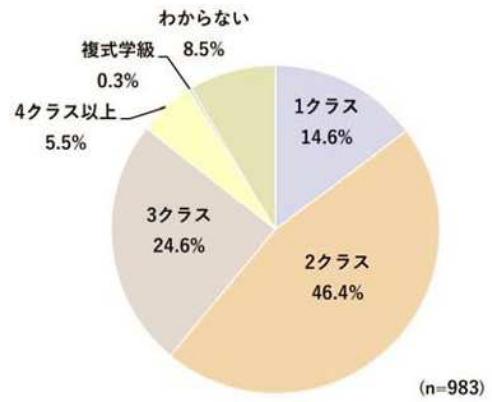
資料:国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口【令和5(2023)年12月推計】

学習や生活についてのアンケート調査（中学生）

問 7 中学校では、1 学年、何クラスあれば良いと思いますか。

望ましいと考えている中学校の学級数は、「2 クラス」が最も多く、46.4%。つづいて、「3 クラス」24.6%，「1 クラス」14.6%の順となっています。

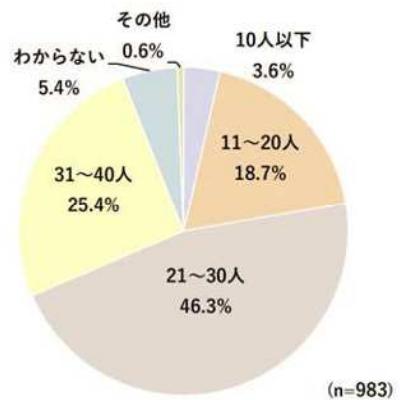
No.	カテゴリ	実数	%
1	1 クラス	144	14.6
2	2 クラス	456	46.4
3	3 クラス	242	24.6
4	4 クラス以上	54	5.5
5	複式学級	3	0.3
6	わからない	84	8.5
	合 計	983	99.9



問 8 中学校では、1 クラス、何人ぐらいいれば良いと思いますか。

望ましいと考えている中学校の生徒数は、「21～30 人」が最も多く、46.3%。つづいて、「31～40 人」25.4%，「11～20 人」18.7%の順となっています。

No.	カテゴリ	実数	%
1	10 人以下	35	3.6
2	11～20 人	184	18.7
3	21～30 人	455	46.3
4	31～40 人	250	25.4
5	わからない	53	5.4
6	その他	6	0.6
	合 計	983	100.0



○主なその他の意見

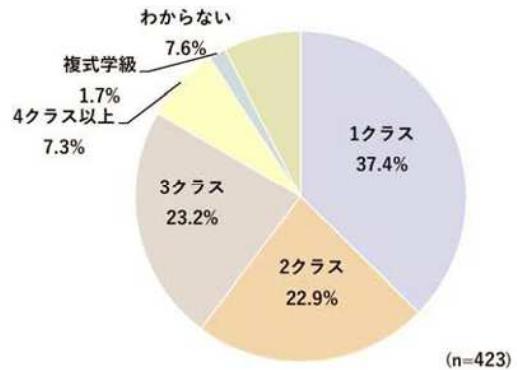
- ・先生の目が行き届いているなら何人でもいい
- ・30 人前後 など

問7 望ましいクラス数は1学年何クラスだと思いますか。

(1)小学校

望ましいと考えている小学校の学級数は、「1 クラス」が最も多く、37.4%。つづいて、「3 クラス」23.2%，「2 クラス」22.9%の順となっています。

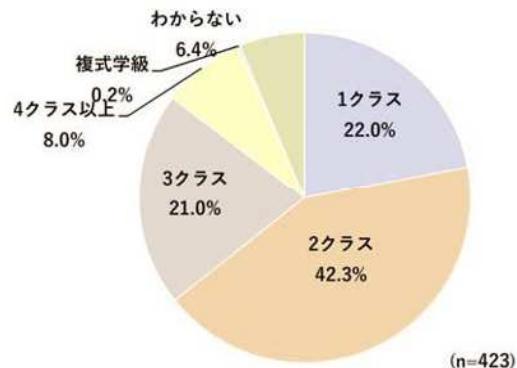
No.	カテゴリ	実数	%
1	1 クラス	158	37.4
2	2 クラス	97	22.9
3	3 クラス	98	23.2
4	4 クラス以上	31	7.3
5	複式学級	7	1.7
6	わからない	32	7.6
	合 計	423	100.1



問7 (2)中学校

望ましいと考えている中学校的学級数は、「2 クラス」が最も多く、42.3%。つづいて、「1 クラス」22.0%，「3 クラス」21.0%の順となっています。

No.	カテゴリ	実数	%
1	1 クラス	93	22.0
2	2 クラス	179	42.3
3	3 クラス	89	21.0
4	4 クラス以上	34	8.0
5	複式学級	1	0.2
6	わからない	27	6.4
	合 計	423	99.9

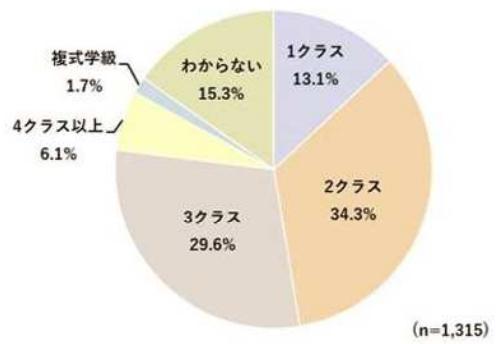


問7 望ましいクラス数は1学年何クラスだと思いますか。

(1)小学校

望ましいと考えている小学校の学級数は、「2 クラス」が最も多く、34.3%。つづいて、「3 クラス」29.6%，「1 クラス」13.1%の順となっています。2クラス以上は、70.0%となり、複数クラスを望む声は多いです。

No.	カテゴリ	実数	%
1	1 クラス	172	13.1
2	2 クラス	451	34.3
3	3 クラス	389	29.6
4	4 クラス以上	80	6.1
5	複式学級	22	1.7
6	わからない	201	15.3
	合 計	1,315	100.1



問7 (2)中学校

望ましいと考えている中学校的学級数は、「3 クラス」が最も多く、34.2%。つづいて、「2 クラス」31.4%，「4 クラス」10.1%の順となっています。2クラス以上は、75.7%となり、複数クラスを望む声は多いです。

No.	カテゴリ	実数	%
1	1 クラス	92	7.0
2	2 クラス	413	31.4
3	3 クラス	450	34.2
4	4 クラス以上	133	10.1
5	複式学級	11	0.8
6	わからない	216	16.4
	合 計	1,315	99.9

